

著作権の事情により、作品  
写真の掲載はできません  
(美術館をご覧ください)

### 題材の目標

ベン・ニコルソンの「1933(絵画)」  
を鑑賞し、画面に描かれている線や色  
から思いついた形やイメージを話し  
合う。

コンピュータのお絵かきソフトを活  
用して線と色で自分の好きな画面を  
つくって楽しむ。

「1933(絵画)」 ベン・ニコルソン

準備物 【教師】 鑑賞作品の複写，コンピュータ，プリンター，お絵かきソフトなど

### 学習の展開例

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 事 項	評 価 規 準
<p>画面の中にあるものを見つ ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 色・・・黒，灰色，白，赤など</li> <li>* 線・・・直線，曲線など</li> <li>* 形・・・丸，三角，四角など</li> </ul>	<p>無造作に引かれているように見える線も， 直線や曲線，太い線や細い線，うすい線や はっきりした線などがあることに気づかせ る。また，線が組み合わせあって色々な形が できる面白さを発見させるようにする。</p>	
<p>画面（色，線，形など）から 思いついたものを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・魚の形に見えるよ。</li> <li>・口があって顔のようだ。</li> <li>・夢の中に出てくるおばけみたい だ。</li> </ul>	<p>単純な形から色々なものを連想させ，児童 の自由な発想を引き出すようにする。</p>	<p>線や色，形など に関心もち， 見つけたこと や感じたこと を話したり，聞 いたりする。</p>
<p>コンピュータを使って，線と 色で楽しい画面をつくる。</p>	<p>色々な線や色を組み合わせで，意図的につ くったものや偶然にできたものなど楽しみ ながら作らせる。</p>	<p>自分の好きな 線や色，形を作 って，造形活動 を楽しもうと する。</p>
<p>つくった絵をプリントにし て，みんなで鑑賞する。</p>	<p>作者の思いがよく分かるように題名や説明 などをつけて掲示する。</p>	

## 題材の意図と指導のポイント

### < 児童の発達段階との関連 >

この時期の児童は、ある一つの形から色々なものを連想したり、お話を作ったりして楽しむことができます。

低学年の児童にとっては、コンピュータに慣れるまで少し練習が必要でしょう。しかし、コンピュータへの関心は強く興味をもって活動できる題材です。、コンピュータを活用した造形活動を楽しみましょう。

### < 鑑賞の視点 >

この作品は、本物を見ると彫られて溝になった線が見えたり、色を塗り重ねたり削ったりしていることが分かります。複写では黒っぽい画面の中に白い線でいろいろな形が描かれ、2ヶ所ほど赤っぽい色が塗られ、1ヶ所はこげ茶色で(あまり見えない)塗られています。このシンプルな画面から児童は個性豊

かな発想を広げていくでしょう。

### < 指導の工夫及び配慮 >

鑑賞活動では、児童の印象を大切にし、画面から見つけたことや想像したことなどを友だちと話し合いながら、作品を味わい楽しませましょう。

コンピュータの操作は、色々な教科で活用する機会をつくり、計画的に技能を身に付けさせていくことが大切です。

画用紙に描く場合、思うように描けなかったら消したりやり直したりしなければいけません。しかし、コンピュータではやり直しが簡単にできる機能があります。コンピュータの機能を十分生かして活動しましょう。

### < 教具(教材)づくり >

コンピュータの活用が無理な場合は、パスやマジックで目を閉じて描いてみたり、画面に点を打ち、それを線で結んで形を作ったりするなどして楽しく表現させましょう。

「1933 ( <sup>かいが</sup> 絵画 )」

《板・ジェッソ・油彩》, 大きさ《73.7×90.8cm》

この作品は、題名の通り 1933 年に制作されました。板の上にジェッソ(地塗り剤)を塗り、色を塗ったり引っ搔いて溝をつくったりすることを繰り返し、表情豊かな画面を作り上げています。単純な線で区切られた形は、塗り重ねられた画面の色や削られた肌合いから、見る者にいろいろなインスピレーションを与えます。

この作品は、いったい何が描かれているのでしょうか。ベン・ニコルソンは、現実に存在するものを描こうとしたのではなく、心の中にあるものを実際に見ることができるよう絵に表しました。ベン・ニコルソンの心の中には何があるのかこの絵を通して想像するものおもしろいでしょう。

## ベン・ニコルソン

ベン・ニコルソン(1894~1982年)は、イギリスのデナムに生まれ、ロンドンのスレイド美術学校で短期間学びました。その後、イギリスの前衛運動や非具象芸術グループの展覧会に参加し、抽象芸術グループを結成し数々の国際的な賞を受けるなど活躍しました。彼のモチーフの幾何学的抽象性は、1931年に会った彫刻家のバーバラ・ヘップワースからの影響に負うところも大きいそうです。